

初心者クラス 学習テーマ：「自分のことをフランス語で話そう」

1日目は挨拶や自己紹介の表現を学んだ後、住んでいるところ、職業、年齢、好きなものや好きなこと、嫌いなものや苦手なことなどを伝える表現を学びました。

2日目は復習から開始です。前日学んだ表現が使われた、本学学部生によるフランス語自己紹介動画をそれぞれのデバイスで視聴し、聞き取れたことや理解できたことなどを報告し合うペアワークを行いました。復習が終わったところで、今度は各自が自己紹介動画を作るつもりになって、スピーチ原稿を作成、練習し、最終的に発表を行いました。このクラスの受講者は、前日からフランス語を学び始めたばかりですが、そうとは思えないほどしっかりとフランス語で自分について語り、自分らしさをアピール！アシスタントとして参加していたパリ大学からの留学生も感心していました。

準初心者クラス 学習テーマ：「観光プランをたて、フランス語で報告しよう」

1日目はフランス語で自己紹介した後、時間や日付の言い方とこれからすること、したいことを伝える表現について学びました。ペアワークによる会話練習も多く取り入れ、はじめは少々硬かった雰囲気も徐々に和らいでいったようです。

2日目は朝から、前日に学んだことを使ったスピーチの準備です。フランスの大都市リヨンとストラスブールのどちらかを選んで、架空の旅行計画を作りフランス語で発表するのです。教員が受講者たちの机をまわって質問に答え、最後に出来上がった原稿と発音をチェックしていきます。発表は全員とても立派で、ときには聴衆から歓声や笑いももれ、外国語でコミュニケーションをとることの楽しみを存分に味わえた様子でした。

経験者クラス 学習テーマ：「フランス語で Exposé（スピーチ）！」

1日目はまずフランス人のティーチング・アシスタント、マリアムのスピーチを聴きました。テーマは「日本語を勉強する理由」、「バカロレア(大学入学資格試験)」、「大統領選挙」の3つです。受講生が4人だったため、初めから和やかな雰囲気が生まれ、日本語と笑いも交えた活発なディスカッションに発展しました。それをもとに各自がスピーチ原稿を作成しました。

2日目はスピーチの練習から始まりました。フランス人TAと教員3人のもとを回って、時間いっぱい個人指導を受けるといった贅沢な授業です。準経験者との合同発表会では全員がきちんとしたフランス語で個性豊かに自分の考えを伝えることができました。

また経験者クラスでは、文学について学ぶ2つの授業「バカロレアでフランス文学を学ぼう」と「モリエールの喜劇を読んでみよう」も実施されました。普段の高校の授業とは少し異なる体験を、受講者たちは楽しいと感じたようです。

合同クラス

全受講者が一緒に学べる授業として、「探求学習：フランスに留学するなら・・・？」と、「フランスのパンで学ぶ」を実施しました。

「探求学習」の講師は本学出身者で演出家として活躍中の小原花さんです。フランス語を使いながら体を動かすゲームで大いに笑ってリラックスした後、本学在学中に官民協働留学促進プログラム「トビタテ！留学JAPAN」の派遣生としてパリで学んだ小原先生のお話を聞き、その後小原先生から出された課題に取り組みました。課題は自分、あるいは選択した人物の希望にあったフランス留学計画を立て、それについて発表するというものです。留学計画を立てるためには様々な情報を得る必要があります。インターネットや書籍などを用いる限られた時間の中での調査になりますが、2日目の報告会では調査の成果やオリジナリティあふれる計画をグループごとに披露しあうことができました。優秀作品は掲示され、白百合女子大学学長賞、フランス語フランス文学科長賞、(小原)花さん賞が授与され、また参加者全員からの投票で最優秀グランプリも決定し表彰されました。

2日間を締めくくった「フランスのパンで学ぶ」はフランス文化を学ぶ授業です。前半はパンとフランスの歴史に関する早押しクイズ！現在のパン窯はいつ頃できたのか、お菓子の原型となったパンは何か、クリスマスのお菓子シュトレンは司教様への税金だったのか、フランスパンが普及したのはフランス革命の影響だったのかなど、日常生活と結びついたパンの歴史と文化を学びました。クイズは各々がデバイスを使って参加でき、結果がその都度表示されるので、大変盛り上がり楽しめました。後半は、ミシェル・トゥルニエの「パンの伝説」をフランス語と日本語による朗読を通してみなで鑑賞しました。